

MASSIMO MARCHESE

LUTE RECITAL AMORE LA SOL MI FA REMIRARE



マッシモ・マルケーゼ
リュートリサイタル
愛だけがそれを私に思い出させ
レオナルド・ダ・ヴィンチ時代の音楽

2019年7月10日 (水) 開場 6 : 3 0 P.M.
開演 7 : 0 0 P.M.

会場 Tiac ホール

Tiac土佐情報経理専門学校 3F 高知市上町1丁目 3-6

入場料は無料

マッシモ・マルケーゼ

1965年、イタリア・サヴォーナ生まれ。ロンドン王立音楽院にてリュートをヤコブ・リンドベルイに師事、同音楽院卒業。その後、パヴィーア高等音楽院“F. ヴィッタディーニ”においてリュートの上級ディプロマ取得。ホブキンソン・スミス、ポール・オデットらに師事。1980年より通奏低音奏者およびソリスとして国際的に活動。ヤコブ・リンドベルイ率いるリュート・オーケストラ“ドデカコルドン”のメンバーとして、エンリコ・ガッティ（バロック・ヴァイオリン/指揮）、ガエターノ・ナジッロ、パトリツィア・パーチェ、マルグリット・ブーフベルガーら多くの古楽奏者と競演を重ね、ソロ活動についても、イタリア国内（ミラノ、ボローニャ、パルマ、トリノ、ジェノヴァ、カリアリ、シラクァ等）ほか、イギリス、スペイン、オランダ、ブルガリア、フィンランド、南アメリカ、中国などで行い、初来日となる2015年には、京都、大阪でリサイタルを行い、好評を博している。ほか、ユトレヒト“リュート音楽祭”、ピエモンテ音楽週間、パリ第4大学ソルボンヌ&フランス国立学術センター共催“国際バロック芸術フェスティバル”、テネリーフェ宗教音楽祭等から定期的に招聘されている。彼の演奏は、イタリア国营放送ラジオ（RAI2、RAI3）、ブルガリア国营放送で取り上げられているほか、RCA、ボン・ジョヴァンニ、ダクトゥス、カリオペ、ケンタウルス・レコード等CDに多くの録音を行っている。なかでもド・ヴィゼのリュート作品の世界初全集CD（プリアント・クラシックス、2011/2015）は高い評価を受けている。音楽学領域の研究においても、16世紀のリュート奏者ガブリエレ・ファッラメーロの作品（1584）の発見などを行い、数多くの研究発表を行っている。サヴォーナ/アレクサンドリア国際古楽祭監督、プラート古楽祭、ラヴェッロ古楽祭講師ほか、パンパラート音楽祭ではチェンバロ奏者・指揮者オッターヴィオ・ダントーネのアシスタントとしてアンサンブル指導を行う。



J. A. DALZA:
Tastar de corde, Recercar dietro
Pavana alla ferrarese
Saltarello, Piva

F. SPINACINO:
Recercare, Adieu mes amour
Recercare di tutti li toni

L. DA VINCI:
Ricerca sopra tre rebus musicali

F. DA MILANO:
Fantasie

V. CAPIROLA:
Recercar primo, Tientalora
Padoana a la francese

P. P. BORRONO:
Pescator che va cantando
Pavana alla milanese
Saltarello della preditta
Saltarello "Rose e viole"



LEONARDO
1519-2019
COMITATO NAZIONALE PER LE CELEBRAZIONI
DEI 500 ANNI DALLA MORTE DI LEONARDO DA VINCI

主催： イタリア文化会館一大阪
協力： イタリア同好会・高知
TIAC土佐情報経理専門学校
パオロのイタリア語教室